



# 明日の例大祭を考える 実践講座

祭り運営の先進的な事例を学ぶ講座を開催します。  
例大祭の将来について考えるためのヒントが満載  
です。ぜひご参加ください！

参加費  
**無料**

どなたでも  
ご参加でき  
ます

日時

10月22日 日

13:30 ~ 15:00 (13:00 開場)

プログラム

- 13:30 開会の挨拶、趣旨説明
- 13:40 講座① 夷子大黒綱引きの事例  
高早 恵美 (敦賀市立博物館学芸員)
- 13:55 講座② 放生祭の事例  
垣東 敏博 (福井県立若狭歴史博物館副館長)
- 14:10 講座③ 祭礼学習の事例  
森本 哲 (美浜町立美浜中央小学校長)
- 14:25 講座④ 長畝日向神楽の事例  
山田 正行 (長畝日向神楽保存会長)
- 14:45 質疑応答
- 15:00 閉会の挨拶

会場

なびあす (美浜町生涯学習センター)  
コミュニティルーム



明日の例大祭を考える

10/22 (日)  
13:30-15:00

# 実践講座

毎年5月1日に開催される彌美神社の例大祭は、伝統文化の継承や世代間・地域間の交流にとって大切なものです。しかし、日本各地の例にもれず、美浜町においても高齢化社会のあおりを受けて、参加者・後継者の不足問題が生じています。

明日の例大祭を考える会議と福井県里山里海湖研究所とは、2015年から、彌美神社例大祭を軸とした伝統文化継承と地域振興に関する活動をおこなってきました。主な活動に毎年なびあすで開催している「例大祭を考えるシリーズ」があります。これまで二回開催しました。

第一回目 明日の例大祭を考える若者会議 (2015年11月29日)

第二回目 明日の例大祭を考える意見交換会 (2016年12月11日)

第一回目は「小学校と若者」に、二回目は「地域」に焦点をあてて話し合いました。これにより例大祭の将来についての地域での意識も高まってきたものと思います。

これらを受けて第三回目は、「明日の例大祭を考える実践講座」とし、視点を外に開きます。例大祭に30年以上通い続ける民俗学者の橋本裕之先生(里山里海湖研究所・協力者)を総合司会とし、県内のお祭り運営に関わる方々を講師として迎え、先進的な事例を学ぶことで例大祭の将来について考えたいと思います。

参加費  
**無料**

どなたでも  
ご参加でき  
ます

## なびあすへの交通

車：舞鶴若狭自動車道若狭美浜 IC  
より小浜方面へ約10分。もしくは、  
若狭三方 IC より敦賀方面へ  
約10分。

電車：JR 小浜線美浜駅下車。徒歩  
約10分。

## 実践講座の会場

正面玄関を入って右手の  
**コミュニティルーム**です。

問い合わせ (福井県里山里海湖研究所・中村)

☎ 0770-45-3580

FAX 0770-45-3680

